

ECAFEが2回 地質図作成作業部会 東京で開催 鉱物資源開発小委員会

地質並びに鉱産資源の調査・研究事業は本来国際性の豊かなものであつて、隣接諸国はもとより世界各国が緊密に協力することにより初めて所期の効果が達成されうるものであるが、ECAFE（国連アジア・極東経済委員会）の主催・日本政府の協力で、標記の2会議が来る6月5日から13日間にわたり東京（産経会館）において開催の運びとなり、その招請状はすでに加盟国・準加盟国その他関係機関に発せられ、参集する各国代表等は50名をこえるものと予想されている。

1. 地質図作成作業部会

1954年11月タイ国のバンコックにおいて第1回の会議が開催されたが、今回はさきに討論・採決された地質図編集についての諸規準（層位学的尺度・地図投影法・地質記号等）にもとずき準備された地質原図（200万分の1）を各国が持ちより審議を行うものである。

この結果近い将来にアジア・極東地域の最新の知識にもとづく500万分の1地質図が完成・出版され、広く利用に供されることになろう。また、今後は地質構造図や鉱産資源分布図の作成についてもこの会議で準備され推進されるであろう。

主要な予定議題は次のとおりである。

1 ECAFE地域の地質図準備状況の報告

- 2 ECAFE以外の地域における地質図の作成状況
- 3 ECAFE地域の地質図に用いた投影法についての報告
- 4 上記に関する討議および意見交換

2. 鉱物資源開発小委員会

この会議は前記作業部会に引き続き6月12日から17日までの間に行われるが、この会議も1954年11月の第1回に次ぐ第2回目に当る。

ECAFE地域内の鉱業開発について提起されている各種の問題を討議し、これらの解決方策を国際協力の上に推進しようとするものであるが予定されている討論事項は次のとおりである。

- 1 第7回および第8回産業貿易委員会並びに第1回鉱物資源開発小委員会報告の所見

- 2 1955年の鉱物資源の開発についてのECAFE事務局の活動
- 3 アジア・極東地域の鉱業開発
- 4 地域内の鉱物開発を管理する法律の準備調査
- 5 西ヨーロッパ・ソ連視察旅行の報告
- 6 地域内の燃料経済の総合調査
- 7 地域内のリグナイト資源と開発・利用
- 8 地域内の石炭分類の規準
- 9 地域内の鉱物資源開発に関するTAA助言

3. 見学旅行

両会議終了後、夕張炭田・室蘭製鉄所・昭和新山・十和田・小坂および松尾鉱業所の地質・鉱山等の見学旅行が計画されている。（企画課）

東京産経会館国際会議場

（産経会館提供）

